

令和元年 第14回

仙北市教育委員会定例会会議録

令和元年11月28日

仙北市教育委員会

令和元年 第14回 仙北市教育委員会定例会会議録

1 開会宣言 令和元年11月28日(木) 午後2時05分

2 場 所 角館庁舎西側庁舎2階 第3会議室

3 出席委員

教育長	熊谷 徹
教育長職務代理者	安部 哲男
委員	坂本 佐穂
委員	橋本 勲
委員	細川 伸也

4 出席した事務局職員

教育部長	戸澤 浩
教育次長	三浦 政喜
教育次長兼教育総務課長	
兼田沢湖学校給食センター所長	
兼西木学校給食センター所長	浅利 美智子
教育次長兼生涯学習課長	佐々木 幸美
教育次長兼学習資料館	
・イベント交流館長	富岡 美津子
北浦教育文化研究所 所長	米澤 孝子
角館学校給食センター 所長	千葉 幸仁
田沢湖公民館長	保坂 博明
角館公民館長	佐々木 勇人
西木公民館長	真崎 智明
田沢湖図書館 係長	齋藤 五月
スポーツ振興課長	伊藤 聡
文化財課長兼平福記念美術館長	富木 弘一
平福記念美術館参事	松橋 幸太郎

5 議事

(1) 議案審議

議案第34号	令和元年度仙北市一般会計補正予算の教育費について
議案第35号	令和2年度仙北市一般会計予算の教育費について

(2) 報告事項

報告第37号	仙北市教育行政報告について
報告第38号	仙北市立中川小学校閉校記念事業費補助金交付要綱の制定について
報告第39号	就学指定校変更の承認について

6 審議の経過及び結果

(熊谷教育長)

ただいまから、令和元年第14回仙北市教育委員会11月定例会を開催いたします。

それでは、本定例会の出席委員、職員を紹介いたします。

－出席委員、職員を紹介－

会議書記には千代課長補佐を任命いたします。また、議事録署名員は、私と委員からは、坂本委員を指名いたします。なお、前回会議録の承認については、会議終了後をお願いいたします。

(熊谷教育長)

私の挨拶として3点申し上げます。まず、11月19日に拠点校英語改善指導授業が生保内小中学校で、また26日に西明寺小中学校で仙北市教育研究大会が開催されました。特に拠点校英語改善指導授業に関しては、抜群であり国際教養大の松田准教授も絶賛されており素晴らしい授業でありました。また、西明寺小中学校の教育研究大会につきましても先生方の授業傾向と対策がなされており非常に良い研究大会でありました。

次に2点目です。11月3日に西木地区の文化祭が開催され、これで3地区の文化祭が終了しました。3地区とも非常に地域色が出ており、多種多様な催しが開催されておりました。角館地区については来場者が非常に多く「あきいろこみち」と日時が重ならないように開催するべきと強く感じました。再来年令和3年4月から中央公民館という形態となり、より活発化を求めて取り組んで参りたいと考えております。

3点目です。18日に大仙仙北美郷教育委員会連絡会がグランデールガーデンで開催されました。大仙美郷の教育長、教育委員さんからは仙北市からは多数のご出席頂いたこと大変感銘を受けておられました。また、文化財課、スポーツ振興課におかれましても諸所の課題に取り組んでおります。今後もオール教育委員会として対応して参ります。

(熊谷教育長)

次に11月の事務報告をさせていただきます。

－資料により報告－

(熊谷教育長)

11月の事務報告に質問はありませんか。

－質問なし－

(熊谷教育長)

それでは、議事に入ります。

議案第34号令和元年度仙北市一般会計補正予算の教育費について説明を求めます。

(浅利教育次長兼教育総務課長)

議案第34号令和元年度仙北市一般会計補正予算の教育費について、別紙のとおり定例会に提案するものです。今回の補正予算につきましては、人件費は全ての課において予定されておりますが、本概要については人件費以外の項目について説明させていただきます。2ページをご覧ください。10款2項1目一般管理費14節使用料及び賃借料についてですが、こちらはスキー教室貸切バス賃借料であり、市バスが借りられない場合に賃借する経費として計上しております。

次に10款2項2目一般教育振興総務費18節備品購入費は、来年度教科書改訂による小学校教科書分と指導書購入分を計上しております。来年度は中学校分が同様の予算計上となります。児童派遣費補助金19節負担金補助及び交付金についても、各東北大会等に生徒、教員を派遣する際の補助金不足分を計上しております。

3ページをご覧ください。10款3項1目一般管理費14節使用料及び賃借料についても、中学校分のスキー教室貸切バス賃借料を計上しております。

(齋藤田沢湖図書館係長)

4ページをご覧ください。10款5項9目13節委託料については、舞台運営管理業務委

託料の不足分を計上しております。

(熊谷教育長)

質問はありませんか。

－質問なし－

(熊谷教育長)

それでは、議案第34号令和元年度仙北市一般会計補正予算の教育費について承認いたします。

(熊谷教育長)

次に議案第35号令和2年度仙北市一般会計予算の教育費について説明を求めます。

(浅利教育次長兼教育総務課長)

議案第35号令和2年度仙北市一般会計予算の教育費について、別紙のとおり定例会に提案するものです。概要については現段階でのあくまでも要求であり、今後ヒヤリング、査定等がありますが、来年度も今年並み、今年以上に財政状況が厳しいと思われませんが、出来る限り努力して参ります。児童生徒数は小学校で963人、中学校で576人、合計1,539人の見込となっております。今年度の4月時点で小学校1,025人、中学校で592人、合計1,617人。小学校で62人減、中学校で16人減、合計78人の減となります。少子化傾向が目立って来ております。また、令和2年度から非常勤の臨時職員の方々が会計年度任用職員となります。賃金から報酬へと変更になります。主な変更点については6月と12月の2回、期末手当が支給されます。事務補助、支援員、校務員等約60人が教育総務課内にはおりますが、雇用される方々の待遇改善となる見込みです。

7ページをご覧ください。教育総務課・北浦教育文化研究所費についてご説明させていただきます。10款1項2目事務局費ですが、今年度の事業で学校敷地内の支障木等伐採が多数ありました。各学校の環境整備事業での対応として軽トラックの必要性があり、来年度に軽トラックのリース料とチェーンソー購入費を計上しております。次に障害者雇用対策事業費についても先程、説明致しました会計年度任用職員となるために手当等の増額が見込まれるため増額となっております。次に仙北市学校施設長寿命化計画策定事業費については、生保内小学校の事業により、さまざまな協議をさせて頂き、来年度計画表を策定する委託料を計上させて頂きました。この事業に関連し北浦教育文化研究所費に検討委員等の報酬費を計上させて頂いております。次に8ページをご覧ください。10款1項3目仙北市育英奨学資金繰出金です。こちらの金額は来年度奨学金のゲットバックによる予定額を計上させて頂いております。この後、令和2年度末(令和3年3月)基金残高の予測をする時期となり新規貸付が多いと不足分が予想されます。11月末での基金残高を確認、シュミレーションし令和2年度に一般会計からの繰出金を計画しなければならない状況になってきているかと思えます。今後、財政課と相談し計上させて頂きたいと思えます。次に9ページをご覧ください。10款1項4目スクールバス管理運営費についてです。こちらも会計年度任用職員となるための増額。また、中川地区のスクールバスとして、現在桜木内小学校、桜木内中学校で使用しているバス2台を1台とし、もう1台を中川地区のスクールバスとして活用したいと予算計上しております。既に桜木内小学校、桜木内中学校の校長先生とはご相談し了解を得ております。次に10款2項1目小学校諸工事費については23件程の予定で各学校からの要望を伺い予算計上しております。次に特別支援教育支援員、複式学級指導支援員、外国語活動支援員、各派遣事業費についても会計年度任用職員となるための増額となっております。生保内小学校改修事業費については、エアコン設置工事の予算計上となっております。次に10ページをご覧ください。10款3項1目中学校諸工事費は17件程の予算計上をしております。次に特別支援教育支援員派遣事業についても会計年度任用職員となるための増額となっております。次に11ページをご覧ください。北浦教

育文化研究所 10 款 1 項 5 目国際交流事業費については、角館中学校へ恵文高中の受入関係。生保内中学校の交流事業で来年度は生徒職員が渡航する予算を計上しております。

(千葉角館学校給食センター所長)

給食センター分の説明をさせていただきます。12 ページをご覧ください。今年度までは角館田沢湖 西木と分かれて予算を計上しておりましたが、新年度からは新センターなるため教育総務課予算内に暫時予算を計上しております。内容としては給食収入等の歳入、歳出の運営管理費として会計年度任用職員関係の予算計上。また、車両維持管理費として給食配送車のリース料並びに公用車の維持管理料を計上させて頂いております。今回、新たにということではないのですが、管理運営費内にあった賄材料費を切離し、給食食材費として計上させて頂いております。

(佐々木教育次長兼生涯学習課長)

生涯学習課分の説明をさせていただきます。13 ページをご覧ください。令和2年度に新規に行う事業はございませんが、継続事業の中から昨年と比べ要求額の多い項目につきまして説明致します。歳入についてですが、15 款 2 項 7 目地域学校協働本部事業費補助金は歳出 10 款 5 項 1 目地域学校協働本部事業費に対する県からの補助金であり総事業費の 3 分の 2 ということになっております。次に歳出 10 款 5 項 1 目車両維持管理費についてですが来年 4 月末でリース契約が終了する車両の修繕料等及び 5 月以降に新規リースする車両経費を計上しております。次に花いっぱい運動推進事業費についてですが、例年通りですが来年 5 月 31 日開催の予定であります。次に成人式費です。例年新成人が主体となって式典やアトラクションの準備を行っておりますが、今年はデビュー 20 周年を迎えた仙北市在住のシンガーソングライター大木綾乃さんをお招きし市民会館のロビーコンサート事業予算を活用しミニコンサートを行いました。新成人、来賓、多くの方々から大変好評であったことから来年度は成人式費の方に予算を計上し継続して参りたいと考えております。次に子ども演劇体験支援事業費についてですが、演劇を通じてコミュニケーション能力向上と達成感を培って頂くことで今年は小学校 5 年生から中学校 3 年生までを対象に実施しましたが、来年は高校 3 年生まで対象を広げ実施回数を増やしたいと考え、追加分の予算を計上しております。次に先程、歳入の項目でも説明しました地域学校協働本部事業ですが今年度は田沢湖地区の小学校に協働本部を立ち上げることとしましたが、現在活動中の角館小学校、中川小学校に加え、10 月 1 日付けで生保内小学校に協働本部が設置されました。また、神代小学校につきましても推進委員が内定し年度内の立ち上げが確実となっております。来年度は白岩小学校、西明寺小学校、桧木内小学校に設置を予定しており、本部設置数の増加による予算計上となっております。負担金、補助金等については変更ございません。続いて 14 ページをご覧ください。10 款 5 項 7 目管理運営費については、主に勤労青少年ホーム指定管理委託料となっておりますが、来年度は駐車場や運動場の照明関係の修繕他、施設の老朽化に伴う屋根の工事、テニスコートライン補修工事、運動場の屋根の雨漏り修繕工事が加わり前年より 572 万円増の 1,039 万 1 千円を計上しております。次に 10 款 5 項 10 目管理運営費については、主に角館交流センター指定管理委託料となっておりますが、施設内の水道設備関係の修繕、舞台装置関係の保守点検料、建築基準法第 12 条に関する特定建築物定期報告調査業務、施設の老朽化に伴う屋根及び外壁塗装の調査業務の他、電気設備点検、各種受電設備関係の交換工事さらには今年実施した舞台設備の保守点検で修繕を要する危険個所の報告を受け、舞台の吊物設備改修等に要する経費を加えております。前年より 2,336 万円増の 36,556 千円となっております。

(保坂田沢湖公民館長)

15 ページをご覧ください。10 款 5 項 2 目田沢湖公民館管理運営費につきまして、会計年度任用職員に係る経費、公用車入札に係る経費計上となっております。その他項目につ

いては、例年並みの計上となっております。

(佐々木角館公民館長)

16ページをご覧ください。新規事業につきまして説明致します。10款5項2目角館公民館管理運営費につきまして会計年度任用職員に係る経費計上しております。需用費につきましては、角館東地区公民館体育館吊下げバスケット装置取替修繕として384万円を計上しております。次に工事請負費として、角館東地区公民館駐車場舗装工事、同館高圧コンデンサ微量PCB含有分析調査及び取替工事の予算計上をしております。備品購入費として角館東地区公民館多目的グラウンドスポーツベンチの購入費を計上しております。続いて17ページをご覧ください。角館公民館活動推進費内の工事請負費として公民大学園芸学科ダリア園の花壇増園工事の予算計上であります。備品購入費として展示用パネルの経年劣化による取替費として計上しております。続いて、10款5項8目武家屋敷小野崎家管理運営費内の需用費、角館公民館(小野崎家)弓道場照明器具交換修繕、同館武道館玄関照明器具交換修繕については3、4年前から年次計画で研修室等からLED照明化しており最終年度の交換修繕の予算計上となります。備品購入費につきましては、折りたたみ椅子の破損、劣化等もあり更新としての予算計上となります。

(真崎西木公民館長)

18ページをご覧ください。歳入として桜木内地区運営体が桜木内地区公民館を使用している使用料等となっております。歳出につきましては管理運営費として新規に旅費を計上しております。内容としては職員の研修、会議等のためです。また、会計年度任用職員の該当はありません。備品購入費として、耐用年数の切れる消火器の購入費を計上しております。活動推進費、文化祭補助金については、例年通りの計上となっております。

(齋藤田沢湖図書館係長)

19ページをご覧ください。市民会館について説明致します。歳入につきましては例年通りです。歳出の10款5項9目管理運営費については会計年度任用職員の報酬を計上しております。こちらは新規雇用分となります。同じく管理運営費にルーフデッキ修繕費を計上しております。自主事業運営費として、開館40周年記念事業としての有料自主事業に要する経費を計上しております。施設整備事業費として市民会館受電設備高圧機器更新工事経費を計上しております。

(齋藤田沢湖図書館係長)

20ページをご覧ください。田沢湖図書館について説明致します。歳入につきましては例年通りです。歳出につきましては、会計年度任用職員に係る予算計上。また、10款5項3目図書館サービス拡充事業費として、河正雄文庫目録印刷費を計上しております。

(富岡教育次長兼学習資料館・イベント交流館長)

21ページをご覧ください。学習資料館・イベント交流館について説明致します。学習資料館・イベント交流館は田町に移転し来年度で20年となります。また、旧角館町時代に中町に図書館が設置されてから100年となります。イベント交流館の展示の中で、それに関するものを行いたいと考えております。歳出、学習資料館管理運営費内の研修会等旅費について若干の増額をしております。会計年度任用職員にあたる方々が今まで研修等に行くことが出来なかったため、次回からは研修等受講出来るような予算計上となっております。イベント交流館管理運営費については文学館の照明器具、LED化の予算計上です。学習資料整備費については、図書購入を毎年500万お願いしておりますが、合併からずっと300万の定額となっております。若干の増額をお願いしたく計上しております。学習資料館利用促進費につきましては、当図書館の規模で4人の人件費が必要のことでの予算計上です。ただし現在は2名であります。学校図書館支援事業費については、支援員4名分の報酬となっております。現在2名の支援員で12校を1人あたり6校で巡回してお

りますが1人あたり3校という想定での予算計上としております。次に子ども読書活動推進事業費については、来年度学校1校が減となりますが現在も図書購入費が少ないための予算計上となります。イベント交流館展示費については、現在、椎名其二展を開催しております。公文書図書館、博物館、文学館からお借りしたものを展示しております。大変好評であり期間延長(花見期間)し継続したい意向です。次に町割400年については、文化財課から説明があると思いますが、江戸時代からの町割図を展示したいと考えております。愛の手紙展、これは日本近代文学館の巡回展であります。このプログラムは600万円規模のものですが、半分程の規模にした展示を考えた予算計上です。地域の図書館100年文学館開館20年記念については、今年と同様に秋から半年間、展示を変えながら行いたいと考えております。文学館事業については新潮社関係の予算となります。次に高井有一文庫事業費です。500万頂いた寄付により賄っておりますが現在、150万程使わせて頂いておりますが、来年度は展示ケースを作成し今あるものを展示したいと考えております。

(伊藤スポーツ振興課長)

初めに22ページ歳入の款項目の訂正をお願い致します。12款を13款に。19款雑入を20款に訂正をお願い致します。増減の大きいものについて説明させていただきます。歳入の使用料等につきましては、前年並みとなっております。雑入につきましては、スポーツ振興くじ助成金で前年度と比べ200万程の減となっております。理由としましては、神代スポーツクラブの活動支援に係る補助金が5年間で今年度にて終了する関係で来年度の予算要求がないための理由です。次に歳出23ページをご覧ください。職員給与費については、こちらで入力が出来ないため数字の入力になっておりません。次に2020仙北市スポーツ文化交流事業ですが前年度と比較して500万程の増額となっております。概要として東京オリンピック・パラリンピックのホストタウン事業経費でございます。タイ王国とのスポーツ文化交流に要する経費でございます。想定として車いすバスケット事前合宿経費となります。明日29日から12月7日までタイ・パタヤにてアジア・オセアニア予選会が開催されます。その大会で4位に入らなければ、パラリンピックの本選に出場できない状況ですが、現在予選開催前であり、それらに係る経費の予算計上となります。次に東京2020大会聖火リレー開催事業費が新たな事業となっており、東京オリンピックの聖火リレーにかかる仙北市負担経費、開催イベント経費となります。来年6月9日に仙北市で聖火リレーが行われますが、約2キロを30分程で行うことになっています。実行委員会側では、非公表の部分が多く、皆さんに周知出来ずしておりますが、コースが発表になる前に角館の武家屋敷が写真で掲載されたこともあり角館の武家屋敷、約2キロで実施すると考え準備しております。公表日については、12月17日に組織委員会が公表するとの情報が届いております。ランナーの公表につきましては現段階で不明。12月下旬からランナー個人に個々に連絡をすることです。どの段階で私どもが把握出来るかは確定しておりません。次に田沢湖マラソン負担金についてですが、前年と比較して250万の減額となっておりますが、理由として公認コース更新事業終了によるものです。今後、実行委員会と協議していくこととなりますが参加料の値上げを考えております。現在、フルマラソンでは4,500円となっておりますが他大会では8,000円、1万円等であります。事務局案として6,000円に出来ないか検討しております。選手、コースの安全確保、ボランティアの方々を含めた対応と考えております。次に秋田25市町村ふるさとあきたラン実行委員会負担金についてですが、今年度より229万の増額となっております。来年度仙北市での開催による県実行委員会への負担金です。コース選定については、角館を出発し白岩、神代を周回し角館に戻ってくる33キロ程の距離を想定しております。理由としてランナーが多く踏切、国道を長時間、通行止めするのが厳しいためです。今後、県の

実行委員会とも協議させて頂くこととなります。次に24ページをご覧ください。歳入でもお話しさせて頂きました、総合型地域スポーツクラブ事業実施補助金ですが、5年間の事業終了による232万の減額となります。次に10款6項2目体育施設費については、賃金という項目がなくなり、それに関わった経費等を業者委託料にするための増額、施設の老朽化に伴う修繕が増えてきているためです。仙北市総合体育館建設事業費についてですが、現在建設に向け検討している段階ですが事項として前々から残っていますが、経費については一般総務費で対応することで、こちらでは0円となっております。

(富木文化財課長兼平福記念美術館長)

はじめに25ページ歳入についてです。重要伝統的建造物群保存地区保存事業費として河原田家改修工事4期米蔵改修工事、伝建群防災施設整備事業費補助金、伝建群Dブロック防災施設整備工事として6千万円の国からの補助金でございます。続いて県からの伝建群防災施設整備事業費補助金として、50万円の繰入金でございます。続いて歳出についてです。他課と同様に旧石黒(恵)家の管理人給料、武家屋敷公開に係る管理人給料の人件費について増額の予算計上となっております。重要伝統的建造物群保存地区保存整備事業費については、4年計画で進めております河原田家改修工事4期目として最後となりますが米蔵改修を予定しております。また、武家屋敷の境にあります柴垣採取の委託費等を予定しております。次に26ページをご覧ください。伝建群防災施設整備事業費についてです。6年計画で更新を進めて参りました伝建地区防災設備でございますが来年度、役場庁舎北側Dブロックが最後になり武家屋敷一体の防災設備更新が終了となります。次に角館町割400年記念事業費についてですが、記念行事に係る講師謝金等の予算計上で富岡教育次長兼学習資料館・イベント交流館長から説明がありましたが、文化財課としては記念フォーラムの開催を8月に予定しております。併せて平福記念美術館・文学館・樺細工伝承館でそれに係る資料展開催を予定しております。ユネスコ無形文化遺産魅力発信事業費についてですが、今年度から文化財課で予算を持っておりますが、秋田市で5月に開催されるとあります「食と芸能大祭典」に角館の曳山2台を持って行くための負担金予算計上となります。補助金等につきましては例年通りの予算計上となっております。

(富木文化財課長兼平福記念美術館長)

27ページをご覧ください。歳入の観覧料については、今年度の実績からの予算計上となります。美術作品等購入基金繰入金12,100万と増額になっておりますが、今年度の一般質問で八柳議員から館蔵品購入の予算が無いために良い作品が出た時に直ぐに購入出来ない状況となっているために、基金を年度当初に一般財源に組み入れて、その中で購入したいと市長が答弁され基金の残額を年度当初、会計予算から備品購入費予算に繰り入れすることになり全額12,100万を繰り入れるものであります。歳出につきましては、管理運営費内で会計年度任用職員に係る人件費増額。常設・企画展示費につきましては、昨日の運営審議会で来年度の計画承認を得ました、年6回の企画展を予定しております。管理運営費の中で施設改修工事費として収蔵庫改修工事を予定しております。常設・企画展示費につきましては、先程歳入の項目で説明させて頂きました基金繰入金に伴う増額となっております。また、その年に購入希望作品が無い場合は年度末に専決で基金に戻し入れを行い、不用額としてではなく来年度に繰越金とすることで財政課と協議しております。冷温水発生機更新事業費についてですが、昨年冬に不調になり修理をした所ですが、いつ壊れてもおかしくない状況であり、開館以来交換しておらず記載の要求額計上となります。

(熊谷教育長)

ただいまの説明に対して質問はありませんか。

(坂本委員)

教育総務課内の前年度と比較してどうなのか。お尋ねいたします。小学校諸工事費、中学

校諸工事費についてですが工事予定があるのでしょうか。前年度と同じ位の予算なのでしょうか。

(浅利教育次長兼教育総務課長)

どちらも各学校より要望があった工事について計上しております。今年度、小学校については査定段階で610万、中学校については970万でした。要望があった工事については予算配当具合で優先順位を決め、各学校と協議して工事を発注する流れとなっております。現段階では要求段階なので小学校23件、中学校17件の工事を行いたいと要望しております。

(坂本委員)

平福記念美術館の企画展についてですが現段階で分かっている範囲で教えてください。

(富木文化財課長兼平福記念美術館長)

来年度の展示計画については、春は今までご寄贈頂いた日本画・美彩画・写真等の角館の春を表現した作品を展示することで「春のコレクション展(仮題)」4月から5月に行いたいと考えております。6月から7月17日にかけては白岩出身の渡辺恒三先生の作品を昨年ご遺族の方から新たにご寄贈頂き、没後40年にあたりますので「没後40年渡辺恒三展」を予定しております。7月25日から9月13日までは町割400年記念ということで文学館で収蔵している町割絵図を展示するのに併せて平福水庵の没後130年にあたりますので「平福水庵とその弟子たち」を予定しております。9月から10月にかけては角館出身の日本画家 山田道雄さんの日本画展を開催する予定です。10月30日から11月17日まで、美術館で所蔵してあります珍しい屏風を期間が短いですが展示予定です。その後、例年開催しております県南生徒児童美術展、仙北市総合美術展を開催し館蔵品展という年間スケジュールを昨日、運営審議会に示し承認を得ております。

(安部教育長職務代理者)

会計年度任用職員については、教育委員会のみならず市当局全てで適用されることなのでしょうか。

(浅利教育次長兼教育総務課長)

そうです。市役所全体であり、どこの市町村でも適用されるものです。

(安部教育長職務代理者)

次に7ページの仙北市学校施設長寿命化計画策定事業費についてですが、先程の浅利次長からの説明で検討委員会で協議とありましたが、どのようなことを検討協議されるのでしょうか。また翌年度(令和3年度)から滞りなく計画実施されることを願いますが、如何なものでしょうか。

(浅利教育次長兼教育総務課長)

この事業につきましては、協議会・総合教育会議でお話しさせて頂いておりますが、長寿命化事業の補助金を利用し学校の改修等を行う場合、その計画表が無い場合実施できないまた、2,020年まで策定しなければなりません。それについて、業者委託し各学校の不具合箇所等の算定をして頂きます。それと同時に生保内小学校の件で問題になりました少子化、地域の学校をどうしていくべきかという、コスト面だけではなく、この地域の学校はこうあるべきではないか等を付け加えた計画表を作成したいと考えております。そのために検討委員会、適正化配置委員会等を設けなければならなくなった場合のための予算を設けてあります。また、予測ですが教育委員会としては1年をかけて計画表を策定したいと考えておりますが、保護者、これから学校に入学する幼児の保護者、関係者の方からの意見等を取り入れた計画表となる場合、地域を訪問したり等の(案)は事務局で作成したいと考えております。

(安部教育長職務代理者)

最初の予定では、長寿命化の件は生保内小学校から始まる予定でしたが、いろいろな事情で来年度からは出来なくなりましたが、この件についての順位は生保内小学校が最初に行われることで変更はないのでしょうか。

(浅利教育次長兼教育総務課長)

生保内小学校の優先順位は変わらないと考えられます。その計画表(1年で完成した場合)を基に令和3年度に実施設計(最低で5ヵ月程度)を策定しなければなりません。実際として工事発注するのは、令和4年・5年の工事となる予測です。

(安部教育長職務代理者)

24ページの生保内公園運動施設管理運営費についてですが、公園内の遊具については、この運営費に関係があるのでしょうか。

(伊藤スポーツ振興課長)

当課で管理しているのは、野球場、サブ広場とテニスコートです。

(安部教育長職務代理者)

わかりました。

(橋本委員)

財政が厳しいということで査定の際、カットされる事業もあるかと思いますが、これぞという事業については熱く訴え折衝して頂きますようお願い致します。生保内小学校の長寿命化事業についても計画が実施に移るまで期間を要すると思いますが是非、頑張ってくださいと思います。12ページの給食センターについてですが、3地区のセンターが新しく1つにまとまることで、プロポーザルで業社選定はなされているとのことですが、調理員等の職員は、そちらの業者の従業員によって運営されるものなのでしょうか。

(千葉角館学校給食センター所長)

現在も同業社の委託調理員が従事しております。

(橋本委員)

3地区のセンターが、1つになることで調理員の削減等あった場合、雇用継続を希望される調理員の方につきましては、優先的に雇用継続されますよう配慮をお願い致します。

(千葉角館学校給食センター所長)

慎重に配慮致します。

(橋本委員)

桜木内小中のスクールバスが1台になると説明されましたが、小中学校でうまく時間調整を行い支障のないように対応をお願い致します。

(浅利教育次長兼教育総務課長)

現段階では、4本運行される予定です。小学校で一番早いのが15時10分から最後の18時代まで時間調整を行い運行致します。

(橋本委員)

学習資料館・イベント交流館の学校図書支援員についてですが、各学校を回って頂き図書整備に頑張ってもらっていますが、先日の新聞記事で全国学力テストで新聞を読む子供は成績も優秀であるとのことでした。支援員の方に学校図書館の中で新聞についても子供達が興味を持って読みたいと思う取り組み、活動を検討して頂ければと思います。

(富岡教育次長兼学習資料館・イベント交流館長)

各学校の図書関係担当の先生にも伝え、対応出来るように検討致します。

(橋本委員)

文化財課の歴史的風紀維持計画の計画策定委員の件についてですが。

(富木文化財課長兼平福記念美術館長)

市長と建設部と当課で話をしたのですが、選任職員を置ける配置が出来ないとのことでした。

た。基本を建設課が担当します。計画策定の主が国土交通省のためです。建設部次長が兼務で今年度準備を進めて頂くことでお願いしております。来年度は事業実施計画策定に向けて、建設課に担当を置くか、新しい準備室等を設けるか未確定ですが主担当を建設課でお願いしたいと考えております。

(橋本委員)

Dブロックの防災施設整備工事とはどのような内容でしょうか。

(富木文化財課長兼平福記念美術館長)

Dブロックとは役場庁舎の北側となりますが、武村さん、西宮さん、佐藤養助、岡田さんのそれぞれ各1基、屋外消火栓を設置致します。そのポンプについては火除の防火水槽からのものを使用します。これで武家屋敷北側から両サイドの屋外消火栓設置が完了します。

(橋本委員)

会計年度任用職員についてですが、パート、臨時職員等いろいろな勤務形態があると思いますが、例えば放課後児童クラブ支援員の方々は、週4日勤務(土曜日出勤もあり)の制約があったとのことですが、そのような方々も対象となるのでしょうか。

(浅利教育次長兼教育総務課長)

対象となります。会計年度任用職員はパートとなります。勤務時間は7時間45分以内となります。今まで勤務時間が6時間の方は、勤務時間もそのまま今と同じ条件で会計年度任用職員として扱われます。従来通勤手当、社会保険、雇用保険等も適用され、優遇措置として期末手当が支給されます。

(熊谷教育長)

他に質問はありませんか。

—質問なし—

(熊谷教育長)

それでは、議案第35号令和2年度仙北市一般会計予算の教育費について承認いたします。

(熊谷教育長)

次に報告事項に入ります。報告第37号仙北市教育行政報告について説明を求めます。

(戸澤教育部長)

報告第37号仙北市教育行政報告について、令和元年第6回仙北市議会定例会において別紙のとおり報告するものです。別紙の教育行政報告をご覧ください。

7月に生保内中学校で職員が亡くなったことに関しまして、11月5日付けで秋田県教育委員会へ事故報告書を提出いたしました。内容につきましては、主に市教育委員会や市長部局が関係者より聞き取りしたものとなっております。今後の秋田県教育委員会の対応を注視して参ります。

それでは、諸般の状況を報告します。

【教育総務課】

◇角館中学校の恵文高級中学訪問について

10月28日から31日の3泊4日の日程で、角館中学校生徒6人と引率教員2人が、姉妹校である台湾・台中市立恵文高級中学を初めて訪問し交流しました。参加生徒が交流をとおして体験した内容につきましては、全校集会や校内掲示、学校報などで広く全校生徒や保護者に発信されています。

◇拠点校・協力校英語授業改善事業公開研究会について

今年度、生保内小学校・生保内中学校を県南の拠点校に、英語の授業改善について共同研究を進めてきた成果を発表する公開研究会が、11月19日に同校を会場に開催されました。市内外の小・中学校等から参加した関係者100人を前に、両校の児童・生徒が生

き生きと英語で伝え合う授業を展開し、参加者から高い評価が寄せられました。

◇全県中学校秋季体育大会での活躍について

11月3日、4日、県立武道館で開催された柔道競技の個人戦で、角館中学校の生徒4人が入賞しました。男子55kg級で1年の福島誠之介（ふくしま せいすけ）さんが優勝、同じく60kg級で2年の鎌田宇朗（かまだ ねお）さんが第3位、女子52kg級で1年の児玉さくら（こだま さくら）さんが第3位、同じく63kg級で1年の加藤希望（かとう のぞみ）さんが第3位となっています。

◇文化、芸術面等での児童・生徒の活躍について

9月18日、秋田南中学校で開催された「わたしの主張2019－第41回少年の主張秋田県大会－」において、西明寺中学校3年の鈴木未来（すずき みく）さんが優秀賞に輝きました。

9月24日、美郷総合体育館リリオスで開催された秋田マーチングフェスティバル美郷大会で角館小学校と生保内小学校が、マーチングバンド・バトントワーリング東北大会出場権を獲得し、11月2日、3日に宮城県で開催された東北大会では、角館小学校が銀賞、生保内小学校が銅賞となりました。

9月28日、算数・数学の難問にチャレンジする「全県わか杉チャレンジフェスティバル」が開催され、中学校の部で角館中学校3年の高野成生（たかの なるき）さんが銀賞に輝きました。

10月5日、横手市かまくら館で開催された「第1回秋田県活性化中学生選手権県南大会」で、3年生の高根日愛（たかね ひより）さん、鈴木杏那（すずき あんな）さん、進藤千寛（しんどう ちひろ）さんが出場した角館中学校が優秀校となり、11月9日に、秋田市さきがけホールで開催された全県大会に出場しました。

◇学校環境整備関係の受賞について

今年度の秋田県学校関係緑化コンクールにおいて、神代小学校が秋田県知事賞を受賞し、全国コンクール推薦校に選出されました。

全県花だんコンクールでは、角館小学校が小・中学校では最高の特別優秀賞（秋田県教育長賞）を受賞しました。両校とも、花のいのちを育む日常の地道な活動が評価されての受賞となりました。

◇優良PTA文部科学大臣表彰について

神代中学校PTAと、大曲支援学校せんぼく校PTAが、今年度の優良PTA文部科学大臣表彰に輝きました。神代中学校PTAは、生徒会と連携・協働した四季折々のボランティア活動や、登下校時の街頭指導などが評価されての受賞、大曲支援学校せんぼく校は、シダレザクラの手入れなどの環境整備の充実、草餅作りやはちみつ研修会などの食育の充実が評価されての受賞となりました。

◇仙北市学校給食調理等業務委託指名型プロポーザルについて

11月22日、学校給食調理等業務委託指名型プロポーザルの審査会を行いました。6社指名の内、応募があったのは1社となりました。審査会では、プレゼンテーションを受け審査をし、応募のあった1社を候補者として選定しました。今後12月中旬に契約の締結を予定しています。

◇仙北市教育研究会研究大会について

11月26日、仙北市教育研究会研究大会が西明寺小学校・西明寺中学校を会場に開催されました。当日は、市内全小・中学校の教職員が一堂に会し、大会テーマ「かかわる つなげる いかす ～探究型の授業実践を通して～」の具現化に向けた両校の授業提示と小中連携の在り方に関する提案に基づいて、充実した研究協議が展開されました。

◇生保内小学校長寿命化改修事業について

生保内小学校長寿命化改修事業の事業内容について様々な方向での精査を行いました。昨年からの急激な出生率の低下、来年度には文部科学省から求められている個別施設計画策定に相当の時間を費やすことを考慮し、教育委員会、総合教育会議での協議など意見をいただき、今年度の実施設設計を見送る判断をさせていただきました。

今後、議会の皆様を始め、各関係者等と協議させていただきながら進めていきます。

◇中川小学校・角館小学校の統合準備進捗状況について

来年4月の統合に向けて中川小学校・角館小学校統合準備委員会を設置し協議を続けています。これまで、統合準備委員会からは、校名は角館小学校、校章・校旗・校歌につきましては現在の角館小学校のものを継承すること、中川地区児童の登校方法は、中川小学校に集合してスクールバスに乗車すること、PTAに係る各種規則は、角館小学校の現行のものに依ること等の報告を受けています。

行事等を中心とした両校児童の交流が計画的に進められ、親和的な人間関係が着実に築かれています。なお、中川小学校の閉校式典は令和2年2月9日開催の予定です。

【公民館】

◇仙北市文化祭について

仙北市の文化祭が各地区において盛大に開催されました。角館地区は10月5日、6日の両日角館交流センターにおいて、田沢湖地区は、10月26日、27日の両日生保内市民体育館において、26日にはコラボ企画として、第3回大正琴セレナーデも市民会館において開催されました。西木地区は11月3日に西木温泉クリオンと、隣接する西木林業者等健康増進施設を会場に開催され、各地区の文化祭実行委員会や芸術文化団体、学校等が一丸となり取り組みました。

3地区それぞれ特色があり、角館小学校金管バンド部や西木くりっこ太鼓の演奏、各講座の作品展示、芸能発表、野菜の販売、うどん・そばなどの食事コーナー、物作り体験教室など、日頃の芸術文化活動の成果が多数披露され、延べ1,270人ほどの方々にお越しいただき、芸術文化に親しんでいただきました。

【市民会館】

◇自衛隊音楽隊コンサートについて

10月20日、市民会館において、毎年大変好評の自衛隊音楽隊コンサートが開催され、陸上自衛隊東北方面音楽隊の迫力ある演奏を約700人の方々にお楽しみいただきました。

【学習資料館・イベント交流館】

◇巡回展「矢来町のたからもの 佐藤俊夫新潮社元会長旧蔵資料の輝き」展について

9月3日から10月20日まで新潮社記念文学館で開催しました巡回展「矢来町のたからもの佐藤俊夫新潮社元会長旧蔵資料の輝き」展は、1,232人のお客様が入館され、好評のうちに終了しました。

◇「フェアブル昆虫記を訳した椎名其二（しいな そのじ）展」について

10月29日から来年4月3日まで、「フェアブル昆虫記を訳した椎名其二展」を新潮社記念文学館で開催しています。1887年角館生まれの椎名其二は、21歳で渡米、27歳で渡仏、35歳で「昆虫記」をほん訳し、日本語版「フェアブル昆虫記」の礎を築きました。この度の企画展では、初公開の書簡、寄稿文ほかの資料から、椎名其二の生涯を紹介しています。郷土角館町出身者の企画展でもあり、多くの方々にご覧いただきたいと

思います。

【スポーツ振興課】

◇第6回秋田25市町村対抗駅伝ふるさとあきたラン!について

10月6日、鹿角市「道の駅おおゆ」をスタート・ゴールとして、「第6回秋田25市町村対抗駅伝ふるさとあきたラン!」が開催されました。大会には市内の小学生から一般まで、控え選手を含め18人がエントリーし、世代を超えた襷リレーでチームワークもよく、9区間で熱い走りを見せてくれました。順位は、全体で33チーム中12位、市の部では8位と健闘しました。来年度は仙北市を会場に開催されることとなり、会場、コース設定を含め速やかに準備に取りかかりたいと考えています。

◇東京オリンピック・パラリンピックホストタウン事業について

10月16日から23日まで、田沢湖スポーツセンターにおいて、タイ王国車いすバスケットボールチームの強化合宿が行われました。この合宿は、本日、29日からタイ王国パタヤで開催される、2020東京パラリンピックアジアオセアニア予選に向けたチームの強化合宿として行われたものです。

期間中の18日には、生保内中学校2年生がタイ王国の選手にアドバイスを受けながら、車いすバスケットボールの体験や交流を行いました。生徒からは、「車いすの操作とボールの扱いを同時に行うことや、シュートの難しさに戸惑いながらも楽しく交流が出来た。」と喜びの声が聞かれました。

◇東京オリンピックへの出場決定について

10月20日、日本カヌー連盟は東京オリンピックカヌースラローム女子カナディアンシングル種目で、仙北市神代出身の佐藤彩乃(さとう あやの)さんの代表決定を発表しました。

佐藤さんは、角館高校を卒業後、オリンピック出場を目指すことで中欧スロベニアに単身で渡り、同国代表コーチの指導を受け技術面で確実に成長しているとのこと。

11月11日には市役所を訪れ、「地元の方々の応援がすごくうれしい。本番までにはもっとレベルアップをしたい。」と、オリンピックに向けた決意を語っていただきました。

今後、市としても応援態勢を整え、市民からも大きな声援を送りたいと思います。

【平福記念美術館】

◇「はんぼの会日本画展」について

10月22日から11月17日まで「はんぼの会日本画展」を開催しました。今回当美術館で2回目となった展示会は、院展同人の日本画家・伊藤彰耳(いとう ほうじ)先生と12人の会員が制作した、大小様々な個性あふれる作品が多数展示され大変好評でした。

紅葉シーズンとも重なり、期間中1,158人の入館者となりました。

◇「児童生徒県南美術展」について

12月1日から来年1月28日まで、「第42回児童生徒県南美術展」を開催します。

子どもたちの美術をとおしての表現力や発想力の向上、芸術に対する興味や関心を引き出すことを目的に昭和53年より開催しているものです。今年で第42回を迎えるこの美術展は、冬の児童生徒美術展として恒例となっております。

今年度は県南地区の小・中学校82校から1,037点の出品があり、昨年と比べ小学校で1校の増、出品数では44点の増となりました。

11月24日の審査会で選ばれた特賞受賞者への表彰式を、1月18日に開催します。子どもたちが一生懸命描いた力作を多数展示しておりますので、是非ともご覧いただきたく、皆様のご来館をお待ちしています。

—資料により説明—

(熊谷教育長)

ただいまの説明に対して質問はありませんか。

(安部教育長職務代理者)

教育総務課内の角館中学校の恵文高級中學訪問の件について、訪問された生徒6人は貴重な体験をされて来られたと思いますが、その6人だけの貴重な体験に留まらない共有する取り組み施策を講じることが大事ではないか。今後、市内の子ども達に共有するための発表等の機会を設ける計画、考えはありますでしょうか。

(米澤北浦教育文化研究所所長)

来年1月に子どもサミットが予定されており、その場に集まる各学校の代表生徒達に対して体験を語って頂くことも考えており検討致します。

(熊谷教育長)

他に質問はありませんか。

－質問なし－

(熊谷教育長)

次に報告第38号仙北市立中川小学校閉校記念事業費補助金交付要綱の制定について説明を求めます。

(浅利教育次長兼教育総務課長)

報告第38号仙北市立中川小学校閉校記念事業費補助金交付要綱を別紙のとおり制定したので報告致します。先の9月議会にて予算配当を認めて頂き、それに基づき補助金交付要綱を制定しております。内容につきましては30ページの記載のとおりであり、この要綱は令和2年3月31日限り、その効力を失うものであります。

(熊谷教育長)

質問はありませんか。

－質問なし－

(熊谷教育長)

次に報告第39号就学指定校変更の承認について説明を求めます。

(三浦次長)

報告第39号就学指定校変更の承認について、先に申請のあった就学指定校の変更1件について仙北市教育委員会として承認することとしたので報告するものです。詳細については別紙関係資料のとおりですが、保護者の都合で住居が変更となったわけですが、学校については従来のとおり通学したいとの保護者、本人の要望に応えたものであります。

(熊谷教育長)

質問はありませんか。

－質問なし－

(熊谷教育長)

報告第39号就学指定校変更の承認について承認致します。

(熊谷教育長)

次にその他の時間とします。

はじめに、いじめ・不登校対策についてお願いします。

(米澤北浦教育文化研究所所長)

10月のいじめ、不登校の状況について報告いたします。

はじめに、いじめについては小学校が8件、中学校が2件、計10件の報告がありました。

次に、10月の不登校については新規の不登校と認められる児童生徒はいません。

以上、10月のいじめ、不登校の状況です。

(熊谷教育長)

次に教育委員会定例会会議録のホームページ公開について説明をお願いします。

(浅利教育次長兼教育総務課長)

ホームページ公開についてですが、字消し部分は削除し、アンダーライン部分を追加書きし、その他の部分はそのまま市ホームページに掲載させていただきます。

－資料により説明－

誤字や脱字、お気付きの箇所等ございましたらご連絡くださるようお願いいたします。

(熊谷教育長)

お気づきの箇所等がありましたら、浅利次長へ連絡してください。

他にありませんか。

(富木文化財課長兼平福記念美術館長)

文化財課からご報告させていただきます。沖縄の首里城での火災に伴い文化財に対する防災意識を強めて頂きたいとの思いで、北地域自主防災会と文化財課の合同による防災訓練を12月1日(日)、午後2時より河原田家と小田野家の消防設備を使用し一斉の放水訓練実施を予定しております。地域の自主防災会の皆さんには昨年修理した放水銃と屋内消火栓を開き放水をして頂き、今回は消防署にも立ち会って頂く予定です。

(佐々木教育次長兼生涯学習課長)

生涯学習課からご報告させていただきます。9月定例会で仙北市地域学校協働活動推進委員の委嘱ということで5名の方をご紹介申し上げた所ですが、それぞれ以前、学校地域支援本部という事業を行っていた頃は地域市コーディネーターという名前で活動して頂いておりました。今度は活動推進委員ということで市からの委嘱ということで教育長から委嘱状を交付して頂きました。予定していた5名の方ですが、本日角館小学校の赤川和子さんと茂木一代さんの推進員委嘱状交付式を本日、午後1時に地域センター応接室にて執り行いました。これで9月の報告で予定しておりました全ての方の推進委員ということで活動して頂くこととなります。神代小学校で内定(内諾)して頂いております方につきましては詳細が決まり次第、改めてご報告させていただきます。

(熊谷教育長)

それでは、以上で令和元年第14回仙北市教育委員会11月定例会を閉会いたします。

(閉会宣言：午後3時55分)